

みんなのひろば

Message



市民と編集担当者とのおしゃべりコーナー「みんなのひろば」です。より親しみやすい広報紙をめざして、みなさまからいただいたメッセージを紹介していきます。今回は、前号（53号）のクイズ応募ハガキからです。

▼先日孫が点字を打ったり車いすの体験を学校でしてきました。目の不自由な人はこの点字が読める事がすごいなあと感心していました。またこんな機会があればいいと思います。（60代）

お孫さんは大変貴重な体験ができてよかったですね。このような子どもたちの発見や気づきが、学習の始まりだと思えます。

▼先日、笹森先生の発達障害の講演会に参加しました。とってもわかりやすくお話

されてよかったです。もっと多くの人に聞いてほしいなと思いました。（60代）

笹森先生の講演は昨年もお願ひしたのですが、好評なため今年もお願いしました。発達障がいについての理解を深めるためにも、笹森先生のお話は多くの方々に聞いてほしいと思います。

▼私は昔、小学校高学年頃から不登校でした。中卒で働き、やはり学校へ行きたいと通信制高校へ通い無事卒業することができました。今、当身を振り返ると（自分も悪かったのだ）と思うことが出来ます。しかし、時間は戻ることが出来ません。もし、あの時、自分に勇気があったなら、今とは違う未来があったかもしれぬ。と思う事があります。「いじめ」とは当人だけでなく

家族含め向き合っていかなければいけない問題だと思いました。世代別の集計がありました。各世代で当然生きてきた環境が全く違うと思いました。（30代）

「あの時、こうしていれば」と思うことはよくあります。そうして自分自身を見つめ、振り返り、経験を積んだときに、その時の解決方法が分かるでしょう。そこから自分らしい未来への道のりを見つけ出すことができるかもしれません。その時、家族の皆さんとともに向き合うことができるのでは 않을까。

《メッセージをお寄せください》

クイズ応募ハガキ、FAXやメールでお知らせください。
Tel 0799-64-2521
Fax 0799-64-2565
Eメール：
awaji_jinken@city.awaji.lg.jp

くらしのトピックス⑮

淡路市社会福祉協議会

地域は家族だ!! 1月26日 集落福祉フォーラム開催

「支えあい」や「助けあい」といった言葉は、よく耳にする言葉でしょうし、普段から多くの方が使われている言葉だと思います。「支える」「助ける」という一方の関係ではなく、「し合う」という双方の関係が成立している状態を表した言葉です。

少子高齢化、人口減少等による一人暮らし世帯の増加、過疎化等による空き家や耕作放棄地の増加、地域における福祉的支援が必要な人への対応など、個人や家族だけでは解決が難しい課題があります。集落福祉フォーラムでは、様々な地域の問題に対し地域全体を家族のように包み込む、「し合う」取り組みが発表されます。皆さんも一緒に参加してみませんか。

【第4回集落福祉フォーラム】
日時 平成31年1月26日（土）
13時30分～16時30分
場所 北淡震災記念公園
セミナーハウス
申込 淡路市社会福祉協議会
Tel 62-5214

ぼわん手話!!

第43回

手話は、ろうあ者が日常使用しているコミュニケーションの方法です。このコーナーでは、手話やろうあ者の生活等を紹介いたします。

「大丈夫」



湾曲させた右手の指先を左胸にあててから右胸にあてる

ろうあ者の

日常生活を知ろう⑯

電車に乗っているときに、地震が起きて急に電車が止まってしまいました。車内放送があったようですが、聞こえない私には何が起きたのか、いつ電車が動き出すのかわからず戸惑いました。携帯電話に文字を打ち込んで、隣の人に見せ、ようやく状況を教えてもらえました。音声の案内だけでは情報が遅れ、不安に感じました。

協力：淡路聴力障害者協会
手話サークル津名